

めざす子ども像

「地域の絆を深めよう」**～平城の地で命を育もう～**

取組目標

「地域の絆を深めよう」 ～平城の地でいのちを育もう～**【今年度の取組紹介】**

・サツマイモ栽培

今年もサツマイモの苗植え・収穫をこども園・小学校・中学校に体験してもらいました。その年によって収穫はまちまちで小学校・こども園は豊作でしたが、中学校は残念ながら希望通りにはいきませんでした。同じようにしていても自然が相手、ここが栽培の難しいところということも学びました。



・稲作体験

こども園・小学5年生が田植え・稲刈りを体験し脱穀機でもみに、そして簡易な方法ですが、すり鉢ですって玄米ともみ殻に分けました。その後玄米を一粒食べてみました。最初みんなは何とも言えない顔をしていましたが、甘い…などと感想を口々に。

5年生にはその後、一本の苗から何本に分かれたか（分結数）、又は1本に米粒が何個ついていたかを調べる授業をしました。

・今年他は他の小学校も田植え・稲刈りを体験してもらいました。

・花つくり・パンジー栽培

種まきから始めたパンジー栽培、愛着がわきます。

色々反省点もありますが次回に生かします。

**【今年度のまとめ】**

- ・平城中学校区のメイン事業“食と農”ふれあいフェスタがコロナ禍の影響で実施できませんでした。その代替え事業を学校単位で実施してもらうように計画していましたが、コロナ禍の中やはり目的達成までには至りませんでした。
- ・環境整備の一環で、花つくり（パンジー栽培）をしました。こども園・小学校・中学校のフェンスに飾りました。この状況ですから少しでも心の潤いになればとの思いからです。

【来年度に向けて】

“食と農”ふれあいフェスタ事業を復活させて、子どもたちの参加型のイベントとして子どもたちに企画力をつけさせたいと思います。

“食と農”ということで保存食つくりにも挑戦します。

めざす子ども像

「地域の絆を深めよう」**～平城の地で命を育もう～**

取組目標 今まで取り組んできた食と農に加え、防災、労働、環境、生と性等、人が人として生きていく上で必要なテーマについての学習を深め、豊かな心を育むとともに地域の一員として地域に貢献できる人材の育成に努める。

【今年度の取組紹介】

- ① 恒例のイモ栽培、今年は焼き芋にピッタリ、「紅はるか」に決定!!

秋の平城“食と農”ふれあいフェスタ2021に向けて、今年のイモは、甘くてネットリ、焼き芋にピッタリと評判の「紅はるか」に変更し、5月24日、雨が降りだす中、生徒会本部役員のメンバーと地域の方々と教員で協力しながら「紅はるか」の苗を植えました。



今年は8月のお盆前の長雨による収穫の心配をしつつ、9月21日に生徒30人ほどの手で、「紅はるか」が収穫されました。心配していた通り、掘れども掘れども、高麗人参のようなひげ根状の「紅はるか」の中に、奇跡的に大きく成長した立派な「紅はるか」を求めて、重い土を掘り起こす度に生徒達は一喜一憂しながら、次々に細〜い!?イモをゲットしていました。

残念ながら、フェスタ2021の開催は中止となってしまい、収穫したイモで焼きイモ大会も計画しましたが、生徒への食品提供は見送らざるを得ない残念な結果となりました。



- ② 夏恒例のクリーングリーン大作戦、今年は中止に…

8月28日(土)に予定されていた、毎年恒例の中学校周辺の清掃作業、「夏のクリーングリーン大作戦」は、今年度新型コロナウイルス感染症を考慮して中止の判断をしました。ご用意をいただいていた地域の皆さま、来年は宜しくお祈りします。

【今年度のまとめ】

- 今年も新型コロナウイルス感染症の影響で「平城“食と農”ふれあいフェスタ2021」の開催は中止となり、改めて、「当たり前は、当たり前ではないこと」を感じた1年でした。平城地域恒例の盛大な取組ではありますが、コロナ禍で平城中学校区の園児・小学生・中学生・地域の方が一堂に集まることはできませんでした。「地域の中で子どもは育つ」という、皆さんの思いを、来年度は具体化できるように計画していく必要性を感じました。
- 環境整美事業については、地域のお力を借りながら職員が中心となり、生徒の学習環境をたもつことが出来ました。ありがとうございました。

【来年度に向けて】

- 来年度は今年出来なかった「平城“食と農”ふれあいフェスタ」の取組以外にも、生徒たちが主体的に取り組む視点をさらに取り入れて、新たな取組を模索しながら取り組みたいと考えています。
- 放課後学習などコーディネーターの協力を得て、学習支援の取組を進めたいと考えています。
- 生徒一人一人が平城地域の諸活動に対して主体的に取り組み、継続的な取組にしていくとともに、地域の方の協力を得て、環境美化活動への支援の輪をさらに広げていきたいと思ひます。

めざす子ども像

「地域の絆を深めよう」**～平城の地で命を育もう～****取組目標**

- 地域・家庭・学校が協働し、栽培・生産・命を育む取組で命について学ぶ。
- 様々な人・物・出来事と関わり、感動を味わい、心を動かす体験をする。
- 活動の中で、豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養い、コミュニケーション力を伸ばしていく。

【今年度の取組紹介】**◆米作り体験**

地域の方から学校の南に隣接した田圃をお借りして、5年生が田植え・稲刈り体験を行いました。今年で12年目になります。田植えや稲刈りには、地域の方々や農協の方々が多数応援に駆け付けてくださいました。また、米作りを通して、地域の農業や農産物に触れ、地産地消について考える機会となりました。

**◆サツマイモ栽培**

1年生と6年生が、地域の方と一緒にサツマイモを植え、世話をしました。運動場からも見える位置にあるため、大きくなったかなとながめたり、水やりをしたり生長を楽しみにしていました。地域の方が世話をしてくださる姿も見え、感謝していました。10月には再び1年生と6年生と一緒に収穫をしました。6年生が1年生に教え、手伝う姿を地域の方がサポートしてくださりました。収穫した芋は、放課後子ども教室と共催の焼き芋大会で皆にふるまわれました。

**【今年度のまとめ】**

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会や、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成につながっています。

家庭科学習・図工科学習の支援、図書室や中庭の環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

【来年度に向けて】

各学年の児童により効果的な栽培体験学習を年度当初に計画し、地域の協力を得て実行していきたいです。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、密接な関係づくりを図っていきたいです。コロナ禍で、例年行ってきた「ふれあいフェスタ」や「クリーン活動」の開催見直しも含め、実践内容の再度検討を図り、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流をより一層深めていきたいです。

めざす子ども像

「地域の絆を深めよう」**～平城の地で命を育もう～**

取組目標

食と農の活動を通して、地域の絆を深めよう**～園・家庭・地域が連携し、様々な体験を通して豊かな心と健康な体を育む～****【今年度の取組紹介】焼き芋パーティーと作品展**

今年も地域の方と一緒に子どもたちがとても楽しみにしていた焼き芋パーティーをすることができました。朝早くから園庭で地域の方が準備してくださっている姿を見て、大喜びの子どもたち。一人一人サツマイモをアルミホイルに包み、地域の方に教えてもらいながらクラスごとに火の中にイモを入れ、焼き上がりを心待ちにしていました。園庭で、地域の方と一緒に食べた焼き芋はとても甘くて、「おかわりください」「美味しい」とたくさん頬張っていた子どもたち。食べながら地域の方と話をすることも楽しかったようで、帰って行かれる地域の方を門まで見送り「ありがとうございました」「また来てください」と声をかけていました。



後日、園内作品展で5歳児がこども園で経験したことをテーマに作った共同制作の中に、『稲刈り』と『焼き芋パーティー』のコーナーもありました。作った人形の中に、自分たちだけでなく地域の方の人形もありました。作品展にも地域の方が見に来てくださり、子どもたちの力作を見ていただくことができました。

**【今年度のまとめ】**

今年度もコロナ禍の中でしたが、感染対策を十分に行い事前に紙面で計画を伝えながら地域の方と一緒に活動することができ良かったです。

サツマイモの収穫や田植え、稲刈りを通して食への興味関心が高まり、地域の方への感謝の気持ちももつことができました。さらに貴重な体験は日々の制作活動にも広がり地域の方と子どもたちのつながりを深めることができました。コロナの流行が拡大している時期には中止になった活動もありましたが、地域の方や保護者の方の協力のもと、他にも花壇の花植えやお話の会、体操教室等を行うことができ子どもたちは様々な経験をすることができました。

【来年度に向けて】

感染症対策を行い、取り組める事業は何なのか地域の方と一緒に考えながら活動を精査して行きたいと思います。園児、保護者、地域の相互が心豊かな体験になるように、今後も活動計画や活動後の振り返りを大切にしていきたいです。その際、職員と地域の方がつながりをもてるように引き続き保育後にも時間を確保していきたいと思います。